# 小樽南ロータリークラブ会報

１９６０年創立
昭和３５年２月５日
２０２６年１１月１３日㊎発行
通巻第３１４６号
13

持続可能な
インパクトを
生み出そう

Rotary

２０２６-２０２７年度ＲＩ第２５１０地区目標
【クラブ基盤の強化】
【奉仕活動の推進と公共イメージの向上】
【会員研修の充実と若い世代とのつながり強化】

My Rotary
２５１０地区ホームページ
ＩＣＴ委員会Ｆａｃｅｂｏｏｋ
各委員会へのメール

２０２６−２０２７年度 地区活動方針
Discover your joy in Rotary

今週　１１月１３日
●通常例会　ロータリー財団委員会

来週　１１月２０日
●通常例会

再来週　１１月２７日
●休会

●例会場：オーセントホテル小樽　●例会日：毎週金曜日 12 時 30 分
●事務局：〒047-0032小樽市稲穂2-15-1(オーセントホテル内) TEL.0134-27-8123
●Club Homepage：URL https://rid2510.org/otarushouth/

■例会プログラム　地区大会の報告

## ■ロータリーソング【日も風も星も】

## ■会長挨拶【井手信治会長】



１０月も終わり、会長任期の３分の１が過ぎました。今週は初雪が観測され、朝晩の冷え込みも厳しくなってきました。

１０月２４日（土）のポリオデーは、小樽市内の２ロータリークラブ合同でウイングベイ小樽にて実施し、小樽潮陵高校吹奏楽部に演奏していただきました。昨年の夕方開催に比べ、今年は１３時開始としたことで人通りが多く、募金額も前年を上回りました。

翌２５日（日）の銭函文化祭では、当クラブが展示会場の設営と撤去を担当しました。主催の銭函文化団体協議会の会長は当クラブの斎藤会員です。地元の行事が活発に続けられていることに感銘を受けました。

ポリオ根絶は国際ロータリーの重要な目標です。今後は、より多くの会員の皆様にご参加いただきたいと考えています。

会長就任以来、挨拶の機会の多さを実感しています。本日のプログラムは地区大会の報告です。

## ■幹事報告

①本日の例会終了後、理事会・役員会を開催します。委員長が欠席の場合は、副委員長が出席してください。
②１１月６日（金）は夜間例会です。１８時開始で、参加者は３０名を超えています。参加を希望される方はお申し出ください。
③１１月１３日（金）は通常例会です。担当はロータリー財団委員会です。
④ポリオデー（１０月２４日）と銭函文化祭（１０月２５日）はメークアップの対象です。出席者は幹事が確認して手続きを行うため、各自の手続きは不要です。

## ■委員会報告【斎藤会員】

第３９回銭函文化祭は無事に終了しました。ご協賛に感謝申し上げます。第３９回のプログラムと、写真入りの小冊子「あゆみ」をメールボックスに置いています。部数に限りがありますが、ご一読ください。小冊子には、銭函ロータリークラブの重鎮であった故・藤田氏らが中心となって文化祭を創設した経緯も記されています。

私は第２１回から会長を務めています。来年は節目の第４０回を迎えるため、小樽市や小学校と協議し、絵画コンクールを開催して優秀な児童を表彰したいと考えています。銭函地区の子どもたちの文化活動の一助となるよう努めますので、引き続きご支援をお願いいたします。

## ■出席報告

### ２０２６年１０月３０日

総会員数５１名　欠席者数１４名
桂、工藤、小松、斎田、斎藤（英）、佐藤（公）、佐藤（友）、拝田、馬場、吹田、松尾、湊、水谷、三輪

## 例会プログラム

### ■地区大会の報告

１０月９日（金）から１１日（日）にかけて、札幌ロータリークラブをホストクラブとして国際ロータリー第２５１０地区大会が開催されました。例会では大会の記録動画を上映した後、参加した会員が報告を行いました。

### ■地区大会記念ゴルフ大会【荒田会員】




１０月９日（金）、札幌ゴルフ倶楽部輪厚コースで記念ゴルフ大会が開催され、当クラブからは三栖会員、佐藤友美会員、荒田会員の３名が参加しました。

輪厚コースは男子プロトーナメント「ＡＮＡオープン」の会場として知られる、北海道を代表する名門コースです。札幌ロータリークラブの先輩会員が札幌ゴルフ倶楽部の設立に携わった縁もあり、地区全体から約９０名が参加しました。

当クラブの３名は入賞を逃しましたが、佐藤友美会員はヤーデージブックに全１８ホールのコース図を色鉛筆で書き込んで事前に研究し、当日の朝も練習場に立ち寄ってから臨むなど、ゴルフに真摯に向き合う姿勢が印象的でした。名門コースで他クラブの会員と交流を深める有意義な一日となりました。

## ■会長幹事会・地区指導者育成セミナー【井手会長】

１０月１０日（土）、札幌グランドホテルで会長幹事会が開かれ、井手会長と佐藤幹事が出席しました。ＲＩ会長代理として元ＲＩ理事の三木明氏（姫路ロータリークラブ）が出席し、オラインカ・ハキーム・ババロラＲＩ会長の今年度の方針と、古野重幸ガバナーが掲げる「持続可能なインパクトを生み出そう」について説明されました。

**【サヘル・ローズ氏の基調講演】**

続く地区指導者育成セミナーでは、俳優・タレントのサヘル・ローズ氏が「出会いこそ、生きる力」と題して基調講演を行いました。

サヘル氏はイラン・イラク戦争のさなかにイランで生まれ、孤児院で育ちました。当時のイランでは子どもを産めない女性しか養子を迎えられなかったため、孤児院を訪れていた若い女性は自ら子どもを産めない体となる道を選び、サヘル氏を養女に迎えました。

８歳の頃に養母と来日しましたが、養父の虐待により養母は離婚し、その後は住む家もなく、土管の中で暮らした時期もありました。

そうした中、事情を聞かずに食べ物を分けてくれた学校給食の担当者や、自宅に迎え入れ、日本で暮らせるよう尽力してくれたスーパーの店員との出会いが支えとなりました。現在は大学を卒業し、社会福祉の活動に取り組んでいます。

講演では、戦争の責任は一般市民にはなく、立場によって見方が異なることも語られ、過酷な半生を明るく語る姿が強く印象に残りました。

**【大懇親会】**

夜のＲＩ会長代理ご夫妻歓迎晩餐会・大懇親会には約３５０名が参加し、芸妓の舞やタレントのりんごちゃんによるものまねライブが披露されました。

## ■地区大会本会議【伊藤副会長】



１０月１１日（日）、カナモトホール（札幌市民ホール）で本会議が開かれ、当クラブからは１１名が参加しました。登録者は約1,100名で、札幌ロータリークラブがホストを務めるのは８年ぶり、９回目です。

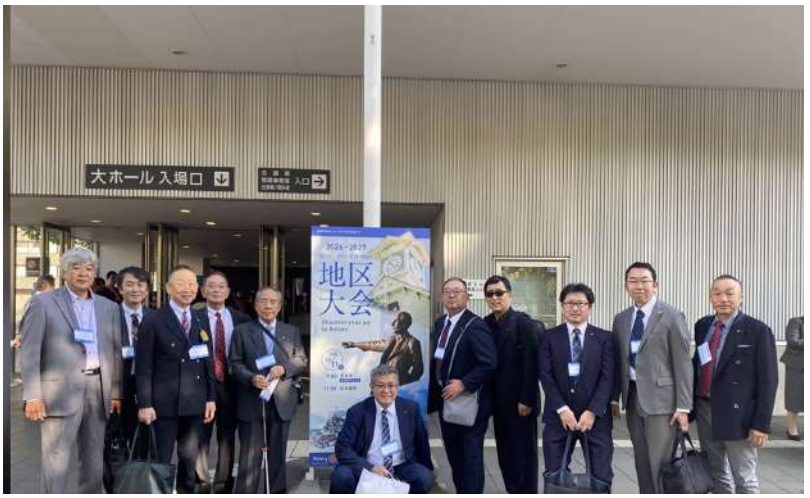
ロータリーソング「我等の生業」の合唱に続き、古野ガバナーは地区活動方針「Discover your joy in Rotary」について、喜びは一人ひとり異なり、その多様さこそがロータリーの魅力であると述べました。来賓として鈴木直道北海道知事、秋元克広札幌市長が祝辞を述べました。

参加クラブ紹介では、６５クラブの会長・幹事が順に登壇し、掛け声とともに紹介されました。

表彰式では、前年度の表彰を前ガバナーが授与しました。永年出席者として、当クラブからは大渕会員（３５年）、岡﨑会員（３０年）、松浦会員・山村会員（１５年）がプログラムに掲載されました。続いて齋藤茂生ガバナーエレクト（恵庭ＲＣ）、平昌夫ガバナーノミニー（札幌南ＲＣ）が挨拶し、次年度は恵庭ロータリークラブのホストにより北広島市のエスコンフィールドHOKKAIDOで開催されることが紹介されました。

記念講演では脳科学者の茂木健一郎氏が「脳科学から見るＡＩの未来」と題して講演し、ＡＩの時代には生きがいこそが人間にとって最も大切な糧になると語りました。

## 地区大会の様子



小樽南ＲＣの集合写真


記念ゴルフ大会（輪厚コース）


サヘル・ローズ氏の基調講演


大懇親会のステージ



本会議　小樽南ＲＣの紹介

## まごころ箱・・・・・・いつも有難うございます！

井　　手　会員…皆様、風邪をひいていませんか。今年も残すところ２か月となりました。クラブ活動のため、皆様のご協力をお願いいたします。

斎　　藤　会員…第３９回銭函文化祭が１０月２５日（日）に無事終了いたしました。来年は節目の第４０回となります。ご協力をよろしくお願いいたします。

石　　川　会員…先日開催された全日本大学女子駅伝において、３年連続で区間２位だった娘が悲願の区間賞を獲得し、感動いたしました。機会があれば例会に連れてまいります。

石　　上　会員…久しぶりに出席いたしました。誕生祝をありがとうございます。

宮　　川　会員…６５歳となりました。ありがとうございました。

前　　川　会員…結婚祝。

**入金集計額** 令和 8.7.1 ～令和 8.10.30（16,000 円）　**合計 331,000 円**